



川でつかまえたヤゴから、トンボの種類はわかるの

ヤゴのすみかは、種類によって決まっている

トンボの幼虫のヤゴは、トンボの種類によって、見つかる場所が分かれています。山のけい流などには、ムカシトンボ、中流の川には、カワトンボ、ハグロトンボ、ヤマサナエ、コヤマトンボなどのヤゴがいます。流れがゆるやかな小川や池、ぬまなどでは、ギンヤンマ、シオカラトンボ、オツネトンボ、アキアカネ、クロスジギンヤンマなど、たくさんの種類のトンボのヤゴが見つかります。

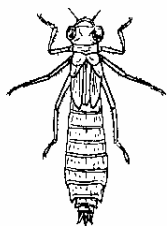
種類によって、水の中で、いる場所もちがう

また、水中のいる場所にも、ちがいが見られます。イトトンボやギンヤンマの仲間のヤゴは、水中の水草などにつかまっています。水底をうろついているのは、アカトンボやシオカラトンボの仲間、どろの中にもぐって、目とおしりの先だけをどろから出しているのは、サナエトンボやオニヤンマのヤゴです。

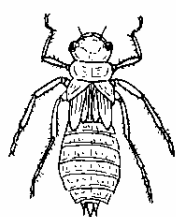
近い仲間のトンボのヤゴは、よく似ています。また、ヤゴは、だっ皮をくり返すにつれて体の色や形が変化するので、ヤゴからトンボの名前をあてるのは、とてもむずかしいものです。ヤゴを育てて、トンボになるのをまつか、専門家の人に見てもらいましょう。

(監修・中山 周平)

さまざまなトンボの幼虫



ギンヤンマ



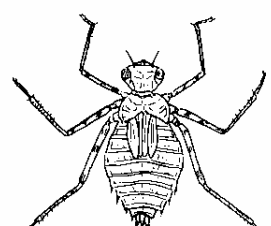
シオカラトンボ



アキアカネ



アオイトトンボ



コヤマトンボ

